

株式会社日本格付研究所（JCR）は、以下のとおり信用格付の結果を公表します。

Mitsubishi HC Capital UK PLC（証券コード：ー）

【新規】

長期発行体格付
格付の見通し

AA
安定的

■格付事由

- (1) 当社は三菱HCキャピタル（長期発行体格付「AA/安定的」、MHC）の連結子会社。英国で個人向けに販売金融や無担保ローンの提供、企業向けにアセットリースや脱炭素系プロジェクトファイナンスを提供しているほか、英国・欧州大陸において大企業から地場企業まで車両リースおよび車両管理サービスを提供しており、ともに地域における主要プレーヤーの一角を占めている。設立は1982年と業歴は長く、資産残高は25年3月末で約9,400百万ポンド（約1.6兆円）と相応の規模を有する。当社の長期発行体格付は、MHCの関与度およびグループにおける経営的重要度を踏まえ、MHCと同水準の「AA」とした。
- (2) MHCによる関与度は強い。MHCは、当社の議決権の100%を有しているほか、当社の主要な資金調達手段であるMTNおよびCPプログラムに保証を付している。また、取締役の派遣などを含めた経営への関与を勘案すると、意思決定や管理におけるMHCとの一体性は強い。MHCグループにおける経営的重要度は高い。海外カスタマーは、MHCのセグメント資産残高および利益に占める構成比が高く、重要なセグメントとJCRはみている。当社は海外カスタマーの中核企業として、長期にわたり安定的に連結業績に貢献しており、グループにおいて戦略的に重要な位置づけにあると評価している。
- (3) 収益力は安定している。近年、経常利益は100百万ポンド台の前半で推移しており、ROA（総資産経常利益ベース）は25/3期1%台半ば。資産残高を着実に積み増してきた車両リース部門の業績が好調に推移したことが利益を支えてきた。市場金利の上昇により資金調達費用が利益を圧迫したが、販売金融や無担保ローンでは顧客への転嫁が進んでいる。欧州の政策金利は低下に転じており、今後、資金調達費用は抑制され、堅調な業績が続くとJCRはみている。
- (4) 資本充実度は良好である。自己資本比率は25年3月末で11%超とリスク対比で問題のない水準にあると評価している。貸倒関連費用は期間損益で十分に吸収可能な範囲内で抑制されている。個人向けの販売金融や無担保ローンは小口分散が図られており、車両リースではリース資産による保全がリスクのバッファーとなっている。資金調達基盤は強固である。MHCによるサポートを背景に安定的に資金を調達しており、流動性に特段の懸念はない。

（担当）大石 剛・孕石 望

■格付対象

発行体：Mitsubishi HC Capital UK PLC

【新規】

対象	格付	見通し
長期発行体格付	AA	安定的

格付提供方針等に基づくその他開示事項

1. 信用格付を付与した年月日：2025 年 8 月 22 日
2. 信用格付の付与について代表して責任を有する者：宮尾 知浩
主任格付アナリスト：大石 剛
3. 評価の前提・等級基準：
評価の前提および等級基準は、JCR のホームページ (<https://www.jcr.co.jp/>) の「格付関連情報」に「信用格付の種類と記号の定義」(2014 年 1 月 6 日) として掲載している。
4. 信用格付の付与にかかる方法の概要：
本件信用格付の付与にかかる方法の概要は、JCR のホームページ (<https://www.jcr.co.jp/>) の「格付関連情報」に、「コーポレート等の信用格付方法」(2024 年 10 月 1 日)、「リース」(2025 年 2 月 7 日)、「企業グループの傘下会社の格付方法」(2022 年 9 月 1 日) として掲載している。
5. 格付関係者：
(発行体・債務者等) Mitsubishi HC Capital UK PLC
6. 本件信用格付の前提・意義・限界：
本件信用格付は、格付対象となる債務について約定通り履行される確実性の程度を等級をもって示すものである。
本件信用格付は、債務履行の確実性の程度に関しての JCR の現時点での総合的な意見の表明であり、当該確実性の程度を完全に表示しているものではない。また、本件信用格付は、デフォルト率や損失の程度を予想するものではない。本件信用格付の評価の対象には、価格変動リスクや市場流動性リスクなど、債務履行の確実性の程度以外の事項は含まれない。
本件信用格付は、格付対象の発行体の業績、規制などを含む業界環境などの変化に伴い見直され、変動する。また、本件信用格付の付与にあたり利用した情報は、JCR が格付対象の発行体および正確で信頼すべき情報源から入手したものであるが、当該情報には、人為的、機械的またはその他の理由により誤りが存在する可能性がある。
7. 本件信用格付に利用した主要な情報の概要および提供者：
 - ・ 格付関係者が提供した監査済財務諸表
 - ・ 格付関係者が提供した業績、経営方針などに関する資料および説明
8. 利用した主要な情報の品質を確保するために講じられた措置の概要：
JCR は、信用格付の審査の基礎をなす情報の品質確保についての方針を定めている。本件信用格付においては、独立監査人による監査、発行体もしくは中立的な機関による対外公表、または担当格付アナリストによる検証など、当該方針が求める要件を満たした情報を、審査の基礎をなす情報として利用した。
9. 格付関係者による関与：
本件信用格付の付与にかかる手続には格付関係者が関与した。
10. JCR に対して直近 1 年以内に講じられた監督上の措置：なし

■留意事項

本文書に記載された情報は、JCR が、発行体および正確で信頼すべき情報源から入手したものです。ただし、当該情報には、人為的、機械的、またはその他の事由による誤りが存在する可能性があります。したがって、JCR は、明示的であると黙示的であるとを問わず、当該情報の正確性、結果、的確性、適時性、完全性、市場性、特定の目的への適合性について、一切表明保証するものではなく、また、JCR は、当該情報の誤り、遺漏、または当該情報を使用した結果について、一切責任を負いません。JCR は、いかなる状況においても、当該情報のあらゆる使用から生じうる、機会損失、金銭的損失を含むあらゆる種類の、特別損害、間接損害、付随的損害、派生的損害について、契約責任、不法行為責任、無過失責任その他責任原因のいかんを問わず、また、当該損害が予見可能であると予見不可能であるとを問わず、一切責任を負いません。また、JCR の格付は意見の表明であって、事実の表明ではなく、信用リスクの判断や個別の債券、コマーシャルペーパー等の購入、売却、保有の意思決定に関して何らの推奨をするものでもありません。JCR の格付は、情報の変更、情報の不足その他の事由により変更、中断、または撤回されることがあります。格付は原則として発行体より手数料をいただいております。JCR の格付データを含め、本文書に係る一切の権利は、JCR が保有しています。JCR の格付データを含め、本文書の一部または全部を問わず、JCR に無断で複製、翻案、改変等を行うことは禁じられています。

■NRSRO 登録状況

JCR は、米国証券取引委員会の定める NRSRO (Nationally Recognized Statistical Rating Organization) の 5 つの信用格付クラスのうち、以下の 4 クラスに登録しています。(1)金融機関、ブローカー・ディーラー、(2)保険会社、(3)一般事業法人、(4)政府・地方自治体。米国証券取引委員会規則 17g-7(a)項に基づく開示の対象となる場合、当該開示は JCR のホームページ (<https://www.jcr.co.jp/en/>) に掲載されるニュースリリースに添付しています。

■本件に関するお問い合わせ先

情報サービス部 TEL : 03-3544-7013 FAX : 03-3544-7026

株式会社 日本格付研究所

Japan Credit Rating Agency, Ltd.
信用格付業者 金融庁長官(格付)第1号

〒104-0061 東京都中央区銀座 5-15-8 時事通信ビル